



# ヨコハマまちかど政治

# かわら版

発行 自民党かながわ1区支部  
編集長 平木 茂  
平成21年12月1日号

2009年  
**12**月号  
No.83

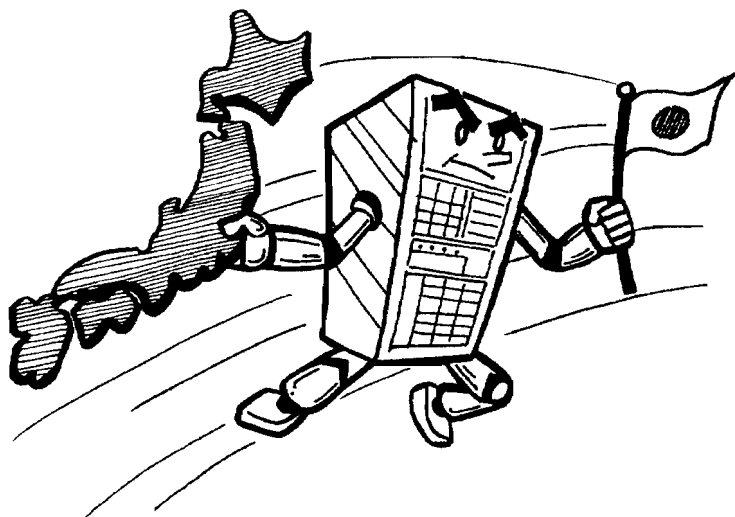
**自民党**  
中区・磯子区・金沢区  
神奈川県支部長  
**松本純**



松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

## ニッポンの明日への投資を止めるな!

### いまこそ世界最速のスーパーコンピュータの開発を



鳩山政権発足後、初めての臨時国会が開かれ、本格的な国会論戦がスタートしました。

野党として初めて臨んだ国会審議で、わたしが感じたことは、政府・与党の問題点を厳しく追及していくことはもちろんですが、ただただ批判を繰り返していてもいけないのではないかとこのことでした。

政府・与党の揚げ足をとって批判するのはたやすいことです。野党の立場にあっても、日本の将来のあるべき姿を考えながら、いかに建設的な議論をしていくのか。「自民党であれば、こうする」という前向きな提案を示しながら、政府・与党と議論を戦わせていかなければ、国民の皆さんから、「もう一度、自民党に任せてみよう」と実感してもらうことなどできないはずですよ。

最近、皆さんの注目を集めたのは、来年度予算の編成に向けた「事業仕分け」だったのではないのでしょうか。私は、8月の衆議院選挙で、「『ばらまき』より、ニッポンの明日への『投資』を」と訴えました。経済危機から脱却し日本が再び力強く歩き始めるには、将来に投資する成長戦略が不可欠です。しかし、鳩山政権の「事業仕分け」では、次世代スーパーコンピュータの開発予算は見送るべきだと判断されたようです。民主党議員からは、「世界一じゃなくてもいいじゃないか」といった意見さえ出たようです。

金沢区の海洋研究開発機構横浜研究所のスーパーコンピュータ（地球シミュレータ）は、世界最速を誇っていましたが、今では、世界に遅れをとっていると聞きました。日本の将来を見据えた明確なビジョンや基準も示さず、ニッポンの明日への投資を削ることは認めるわけにはいきません。

科学技術は、世界に誇る日本の成長戦略として欠かせないだけでなく、日本の将来を担うこどもたちの夢も育みます。こどもたちの夢を、単純な予算額の大きさだけで判断することなどできません。

「ニッポンの明日への投資を止めるな!」 松本純は、来年度予算で、鳩山政権が科学技術関連の事業を盛り込んでいくよう強く訴えていきます。

### 松本議員の活動レポート

結局は「数の力」でした。11月19日から20日未明の徹夜国会は、通常の審議は行われていない中で、民主党など与党が強行な手段で採決しました。自民党は委員長解任決議案などを提出しましたが、圧倒的な議席数を持つ与党に否決され、正常な国会運営がなされていないことに抗議した私たちは本会議場を後にしました。政権交代後初めての法案審議がこの事態です。なぜ早期の採決にこだわったのか、民主党内からも疑問の声が多数ありました。大島理森幹事長をはじめ私たちは、適切な運営のためにぎりぎりまで調整に走り回って、徒労感が残る徹夜となりました。国会が突然正常化した25日午前9時から私は厚生労働委員会で「新型インフルエンザ予防接種による健康被害の救済等に関する特別措置法案」についての質問を45分間行いました。新型インフルエンザへの取り組みは、わが国の国民の生命と健康を守り、国民が安心して生活をおくることができるようにするための、最大の懸案事項となっています。そのような状況の中で、今回の特別措置法に基づく対策について、矛盾や問題があってはならないという視点から質問をいたしました。

#### 【10月】

20日 ● 国吉一夫君の第102代神奈川県議会議長就任を祝う会

25日 ● 関貞彦さんの旭日中綬章受章を祝う会

26日 ● 第173回臨時国会召集

30日 ● 第8回AOTS同窓会代表者会議レセプション

28日 ● 自民党両院議員総会、月例経済報告関係閣僚会議

#### 【11月】

1日 ● 野毛大道芸フェスタ



▲10/17 地域の元気がいっぱい。金沢まつりいきいきフェスタで(海の公園)。



▲10/18 家族揃っての楽しい町内交流です(中区各地区連合町内会大運動会)。



▲10/22 秋の園遊会(赤坂御所)へ。三橋後援会長ご夫妻にもご参加いただきました。



▲10/24 いそご地域活動ホームいびぎまつりで。水取沢高校ジャズバンドの皆さんと。

### いま地域で (人・まち・出来事)

## 町の安心安全のために 市消防操法技術訓練会で銀メダル



### 金沢消防団8分団

(写真前列左から) 長谷川真也さん 長沼葵さん 高嶋秀一さん 藤巻修さん

地域にとって「今、一番必要なもの」として、住民が真っ先に挙げるのが「安全で安心して暮らせる」ことです。住民自身の手で、その「安心安全なまちづくり」に取り組んでいるのが消防団。コミュニティがお互いに支え合う地域の信頼を、日頃の活動の中で育てています。

その消防団が横浜全域から集まり、有事の際に冷静な行動をどれだけの確に、安全、迅速に行えるか、その技量を競う「横浜市消防操法技術訓練会」が先日開かれ、金沢消防団8分団が、みごと4位に入賞し銀メダル(2~4位)を獲得しました。審査は、4人の編成で小型動力ポンプを使い、操作開始から有効放水までのタイムと隊員の基本動作が採点されます。「特に緊張することなく普段の練習どおりの行動がとれた」と指揮の長谷川さん。「分団の隊員や金沢消防団団長を含む各分団の皆さん、金沢消防署長などの熱心な指導、応援のおかげで表彰が受けることができました」と喜びを話してくれました。日常の訓練も大変なようで、隊員の家族の協力も欠かせません。「今春から訓練会に向けた練習で、家族サービスも満足にできなかったのが、家族に感謝している」と語り、「これからも町の安全のために精進していく」と意欲的な姿に頼もしさがみぎってました。

### みんなの声

●きょう、駅でもらった「かわら版」に故中川昭一さんの写真、記事があった。私は中川さんがとても良い議員であったと思っている。現在、執筆中の本に「武士の情けはどこへ行った」と中川さんのことを書いている。(金沢区男性)

●かわら版を読んで、今回の選挙でなぜ負けたのかを分析して、それを載せてほしい。ずっと応援しているので、頑張してほしい。(中区男性)  
※本紙への皆様の自由なご意見をお待ちしております

## 永田町日記 天皇陛下在位20年 お言葉を賜り、感じる責任の重さ

衆議院玄関からバスに乗って着いた国立劇場大劇場、天皇陛下在位20年記念式典に出席しました。陛下のお言葉を賜り、政治家として責任の重さを強く感じた式典でした。これから日本がどんな社会をつかっていけばよいのか、お言葉を肝に銘じながら考えをめぐらせました。即位以来、各地をご訪問した陛下は「訪れた地域はいずれもそれぞれに美しく、容易でない状況のなかでも、人々が助け合い、自分たちの住む地域をすこしでも向上させようと努力している姿を頼もしく見てきました」と述べられました。自らが努力することの尊さ、それが日本人の生き方であると考えている私は、日頃の私たちの地域の努力を評価していただき、とてもうれしく思いました。陛下から直接励ましをいただいたような責任の重さをかみしめています。(純)